

# 造形作品展

さくら組は1学期毎に1回、西村陽平先生による造形活動を行ってきました。

2月13日(月)~17日(金)の期間にその作品のいくつかを大学の百年館ロビーに展示し、作品展を行いました。

作品を見て、「この絵、東京湾みたい。幼稚園の子が描いたようにはとても思えないよね！」などと話している大学生も! たくさんの方々に見て頂けた作品展でした。



造形活動では、裸足になり、全身を使って思いのままに大きなボードに表現していました。子ども達にとって、この時期にしかできない貴重な体験だったと思います。西村先生、ありがとうございました!



2023/2/20

## 西村 陽平 先生



1947年 京都市生まれ。 東京教育大学教育学部芸術学科彫塑専攻卒  
1975年から1998年まで23年間、千葉県立千葉盲学校で図工を担当。

2001年から2016年まで、日本女子大学家政学部児童学科で美術教育を担当。  
子ども・学生たちに造形を教えるとともに、自らも制作活動を行い、1977  
年には「第4回日本陶芸展」において外務大臣賞を受賞。作品は、パリ装飾  
美術館、ビクトリア&アルバート美術館（ロンドン）、プーシキン美術館  
など内外の美術館に収蔵されている。

著書は、「見たことないもの作ろう」「掌の中の宇宙」以上偕成社、「手  
で見るかたち」白水社、「みずのきの絵画」東方出版など。

日本女子大学名誉教授・美術家